

# 1年生

教科	成果	課題	重点取り組み
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書や読み聞かせに親しみ、興味をもって本を読む姿が見られる。</li> <li>・音読劇を通して、読み方を工夫したり、登場人物の気持ちを想像したりできる児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・字形や書き順に気を付けて平仮名を書くことができない児童はクラス内に1/3いる。</li> <li>◎「は、を、へ」や促音、拗音、句読点を正しく表記する力が身に付いていない。</li> <li>・原稿用紙の使い方が身に付いていない。</li> <li>・文章を読んで理解する力の個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MIMやデジタルドリル、「書くって楽しいね」の活用を通して、助詞の使い方、促音、拗音、句読点の書き方や、原稿用紙の使い方など、正しい作文の表記の仕方を身に付けさせる。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・算数学習への意欲が高く、自分で問題を読み取ろうとしたり、立式したりすることができる。</li> <li>・ブロックを操作することで、たし算、ひき算の計算の考え方を身に付けることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数の分解、結合が十分に理解できていない児童がいる。</li> <li>・たし算やひき算の計算速度に個人差がみられる。</li> <li>◎問題を読み取り、場面を理解したり、図に描きおこしたりする力が弱い。</li> <li>・式をもとにおはなしづくりをするのが苦手な児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算カード等を使った反復的な練習を継続して行っていく。</li> <li>・文章問題への取り組みを行い、書かれていることを具体的な場面としてイメージできるよう指導していく。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校探検を行い、学校の施設や働く人たちに興味をもって見学をすることができた。</li> <li>・アサガオの栽培を通して、一生懸命お世話をすることができた。</li> <li>・アサガオの観察を通して、成長していく様子を理解し、つぼみや花の関心が高まった。</li> <li>・観察する対象物を細かく観察して絵に表したり、端末を使用して写真に保存したりして、記録することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎施設への関心は高いが、自分の生活に関わる人への関心が薄い児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が自分に関わる人や施設に関心をもつように活動計画をたて、指導を行っていく。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽に合わせて楽しく体を動かしたり、歌を歌ったりするのが好きな児童が多い。拍に合わせて簡単なリズム打ちをすることができる。</li> <li>・カスタネットなどの簡単な打楽器の使い方を学ぶことができた。</li> <li>・鍵盤ハーモニカを吹くために、階名読みで歌ったり正しい指使いの確認をしたり、ドレミファソなどの音を吹くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎地声で歌ってしまう児童がいる。</li> <li>・鍵盤ハーモニカの演奏で、正しい指使いで演奏する力や、上手くタンギングをする力に個人差がある。また、個別での支援が必要な児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌を歌う際に、地声で歌わずのびやかな声で歌うように指導する。</li> <li>・楽しく鍵盤ハーモニカを演奏する経験を積み、正しい楽器の吹き方を身に付けさせていく。</li> </ul>

<p>図工</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の好きなものや好きなことを思い浮かべて発想を広げ、楽しく制作活動や造形遊びに取り組む児童が多い。</li> <li>・クレパスや絵の具などの画材の特性を活かして、制作活動に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎発想や、構想には個人差があり、自分の思いを形に表すことに自信がなかったり、やることの理解に時間がかかったりし、なかなか制作に取り掛かれない児童が見られる。</li> <li>・はさみやのりなどの用具が正しく使えない児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が制作活動のイメージをもつことができるように、資料を多数用意したり活動に入る前に意見をたくさん出させたりする。</li> <li>・制作活動に入る前に、手や指、体の感覚を働かせて、十分に素材の感触を味わってからイメージを広げさせて活動していく。</li> <li>・はさみ等の道具の正しい使い方などが分かりやすいように、視覚的に学べる機会を多くし反芻する。</li> </ul>
<p>体育</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動やかけっこ、鬼遊び等で友達と共に体を動かす楽しさを味わいながら活動ができた。</li> <li>・水遊びでは意欲的に取り組むことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎運動経験の個人差が大きい。運動経験が少ない児童の中には、うまく体を動かさずにいる児童がいる。</li> <li>◎水に対して抵抗がある児童が多い。顔を水に付けられない児童が学年の4割ほどいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休み時間の外遊びを推奨していく。</li> <li>・運動経験の少ない児童に、様々な場で体を動かす活動に取り組みさせる。</li> <li>・教師や友達のよい動きを授業内で提示したり、動画を活用したりして、良い動きのイメージをもたせるような指導を常時行っていく。</li> <li>・段階的に水に慣れさせるため短時間の挑戦を繰り返していく。</li> </ul>